



現場見学（橋梁上部工／盛土工）

意見交換

R7 合同現場研修会

現 場：斐川上島線（武部2工区）バイパス工事

協 力：(株)フクダ、JFEエンジニアリング（株）

島根県出雲県土整備事務所 都市整備課

主催：島根県土木部技術管理課 後援：（一社）島根県建設業協会、（一社）島根県測量設計業協会 ※順不同

開催日：令和7年10月31日（金）

参加数：17名

建設会社8名

建設コンサルタント4名

県職員（土木部）5名

R7合同現場研修会

○背景等

建設業界における働き方改革が官民共同で進められているところですが、長時間労働の是正に関する取組を進めるなかで、設計成果の品質確保が課題のひとつとして挙げられています。設計成果の品質向上に向けて積極的に取り組むことは、円滑な工事の施工に関与し、発注者、施工者の双方の業務量、工期やコストにも影響するため、大変重要と考えられます。

○本研修会の目的等

建設技術者の高齢化が進んでおり、担い手不足も課題となっていることから若手建設技術者の育成や設計成果の品質確保等に向けて立場が異なる、＜施工者・設計者・発注者＞の三者が一同に会して工事中の現場を見学し、その後で意見交換等を行うことにより、その一助となることを目指して**昨年度に引き続き**開催しました。※通算3回目

一般県道 斐川上島線 武部2工区

事業進捗率(令和6年度末時点) 81%

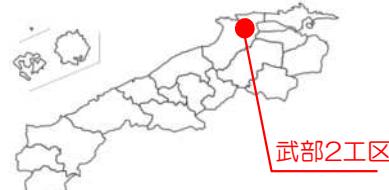
【事業概要】

- ・斐川上島線は、出雲市斐川町直江から出雲市上島町に至る一般県道です。
- ・武部2工区は、斐川ICから出雲市南部地域、そして雲南地域をトンネル(879m)で結ぶ2.3kmのバイパスです。
- ・令和9年度の完了を目指し事業を進めています。

【事業箇所】

出雲市斐川町直江

～出雲市斐川町阿宮



武部2工区



【期待される整備効果】

- ・バイパスができることで広域交通ネットワークが強化されます。
- ・周辺に斐川ICや斐川西工業団地があり、産業振興や地域振興への寄与が期待されます。

【写真①】



【写真②】



現場での気づきや研修会の感想

山陰道と施工中の端が近接していて、施工が大変そうだなと感じた

発注者設計者施工者がそれぞれの立場を越え、意見交換し、工事を完成させることができることが大切だと思いました

他の会社の取り組みを聞くことができて、新鮮な気持ちでした。また、ICTを導入しているところが大きく事業の効率化が進んでいることがすごいと感じました

普段は設計に携わる中で、施工業者側の視点、施工の発注者からの視点は学びになった。現場を見るからこそ、わかる点が数多くあると感じた

ICT施工にあたり、設計変更による、3次元データの再度の作成の苦労がどうか

設計者施工者発注者と様々な観点から考察することができた。今回の事例では、発注者として業者との協議をきちんと行うことが重要であると再確認した。

計画が着手時に再検討されていて難しいと感じた

盛土材がトンネル掘削土で岩が多くのり面整形に苦労しそう

高盛土だが、のり面の表面は浸食を受けておらず、うまく岩碎を使っているなど感じた

ICT施工なので丁張りがなくて驚いた

普段見ることのない現場見学や設計の方、発注者の方との意見交換ができる非常に有意義な研修でした

普段見ることができない、大きな現場で施工業者様から直接細部の内容を聞くことができて大変良かった。グループ討議では若い方から年齢や職種が違う中で様々なお話を聞くことができてよかったです。建設コンサルに求められる内容を再認識できたため、より一層気を引き締めたいと思った